

令和6年度全国学力・学習状況調査結果

令和6年11月15日
長浜市教育委員会

調査実施日：令和6年4月18日（木）

1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

- ・小学校調査 市内公立小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年 931人
- ・中学校調査 市内公立中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年 902人

3 調査内容

ア 教科に関する調査

- 小学校調査・・・国語、算数 各45分
- 中学校調査・・・国語、数学 各50分

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

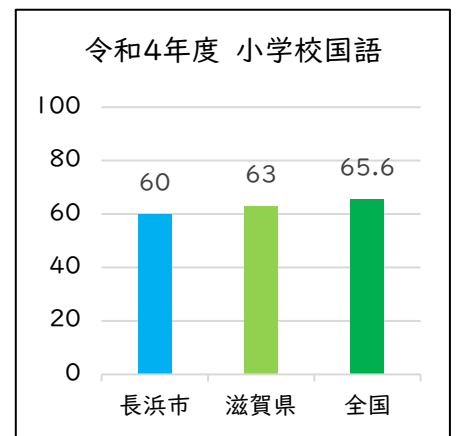
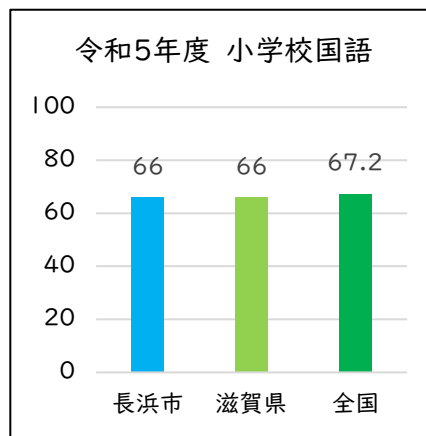
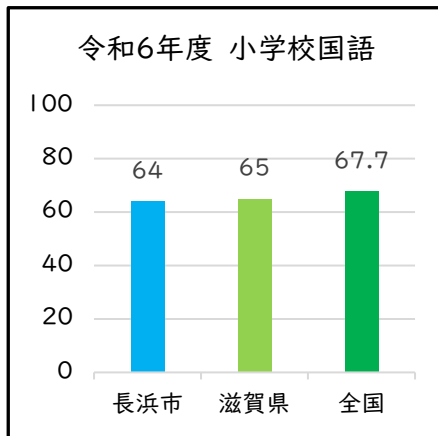
児童生徒に対する調査	学校に対する調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、家庭学習の状況 など	・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

長浜市の教科に関する調査結果

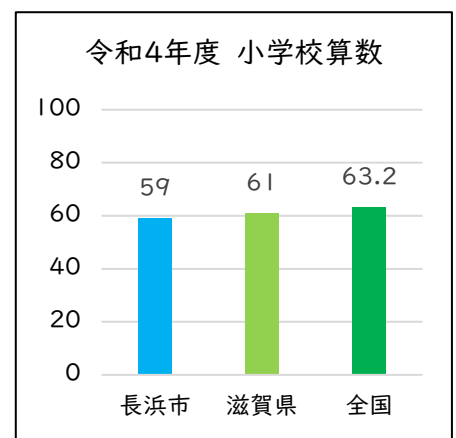
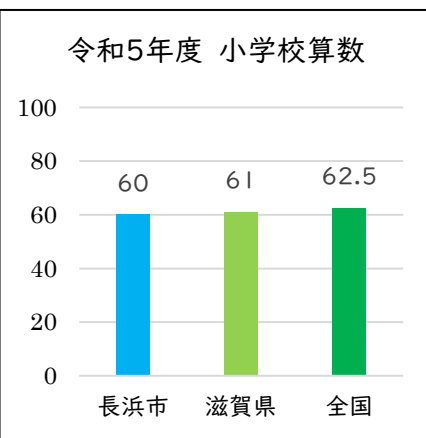
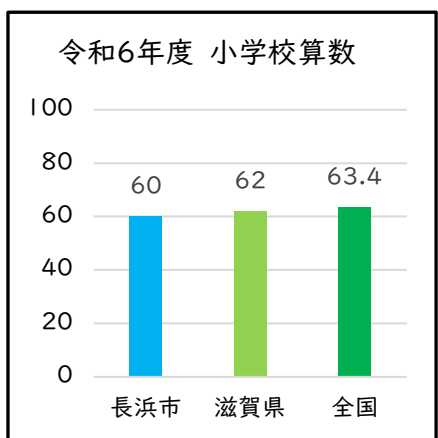
I 平均正答率(%)

【小学校調査】

国語

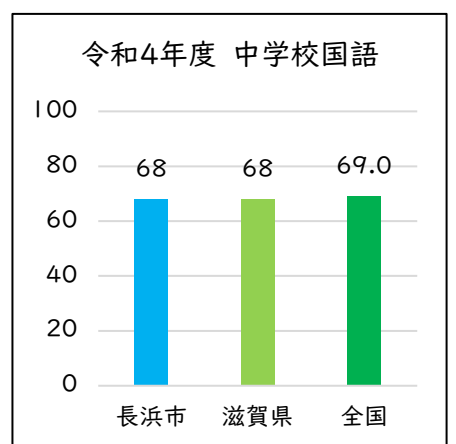
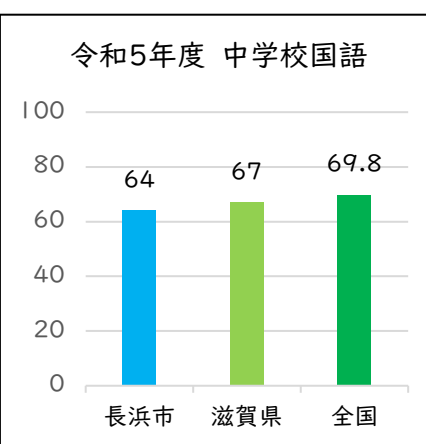
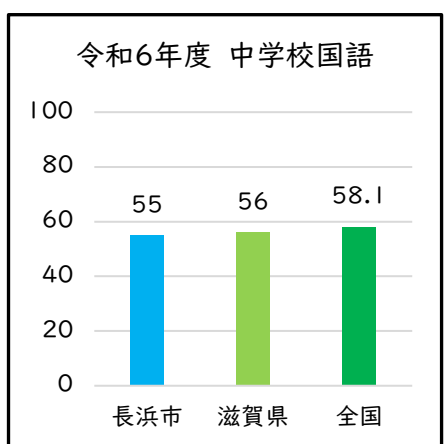


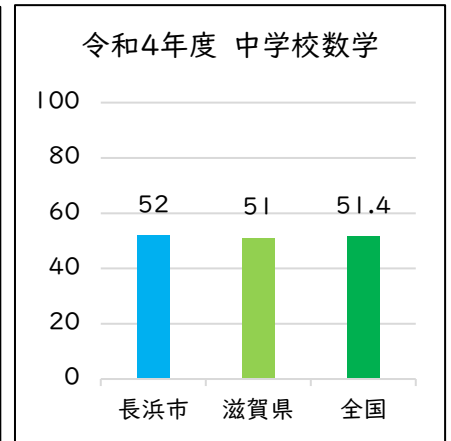
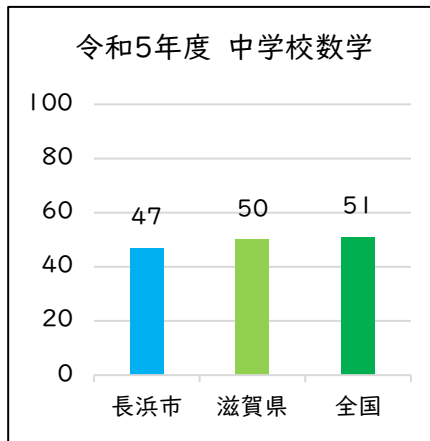
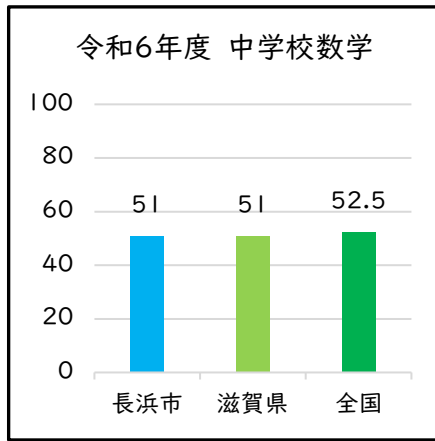
算数



【中学校調査】

国語





※文部科学省がまとめた調査結果をもとに作成しています。

※滋賀県・長浜市の平均正答率は、整数値の公表となっています。

2 結果の概要

今年度の教科に関する調査の結果は、小・中学校ともに全国平均には届きませんでした。また、小学校の正答率を昨年度と比較しますと、両教科ともその差は広がりました。ただし、中学校では全国平均との差は縮まりました。

各教科の学習内容に関わっては、小学校の国語では情報を読み取り、分析や整理することは比較的できています。しかし、「書くこと」の領域で目的や意図に応じて、自分の理解したことや考えをまとめて記述することに課題が見られます。

また、算数では二次元の表からデータを取り出し、分類整理する力が身についています。しかし、「変化と関係」の領域において、数量の関係を捉え、式に表すことに課題が見られました。

中学校の国語では、表現の技法についての理解や必要な情報を要約することは比較的できています。しかし、「書くこと」の領域で表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題が見られます。また、数学では、「関数」の領域で、グラフの交点や傾きなど事象に即して解釈することはできています。しかし、数学的な表現を用いて説明したり、根拠を基にして判断した理由を説明することに課題が見られました。

総じて、小学校・中学校ともにまとまった文章を読んで正確に読み取り、解釈すること、そしてそれを基に考えたことを書いたり、説明する力を伸ばす必要があります。

今後、教育委員会ならびに各学校において質問紙調査の結果も踏まえた詳細な分析を進め、教育施策や授業改善を推進し、学力向上につなげていく必要があります。

生活習慣や学習環境に関する調査結果

◇児童生徒に関する調査

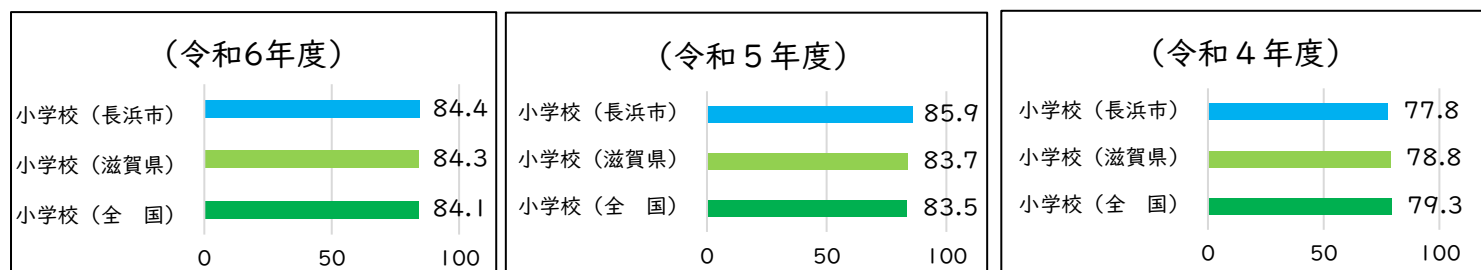
小学生・中学生を対象にした「児童質問紙」「生徒質問紙」の結果から見える長浜市の子どもたちの姿です。

※ 数字は、質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童生徒の割合を表示しています。

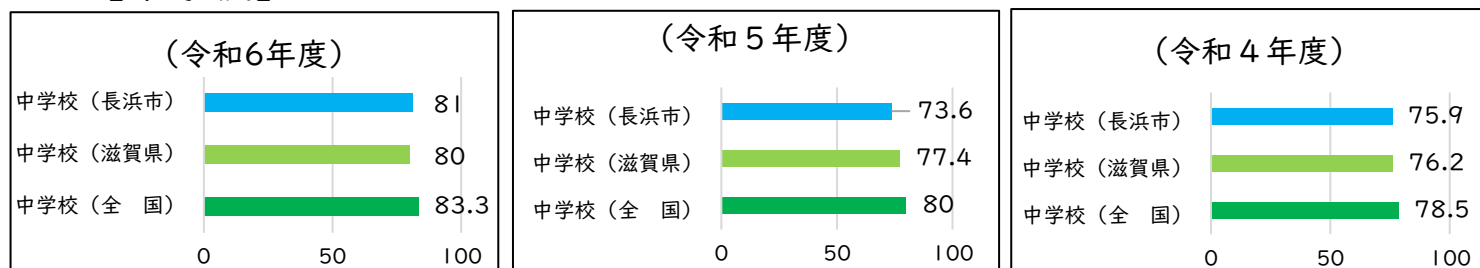
※ 同じ質問事項がない年度があります。

① 自分には、よいところがあると思いますか

【小学校】

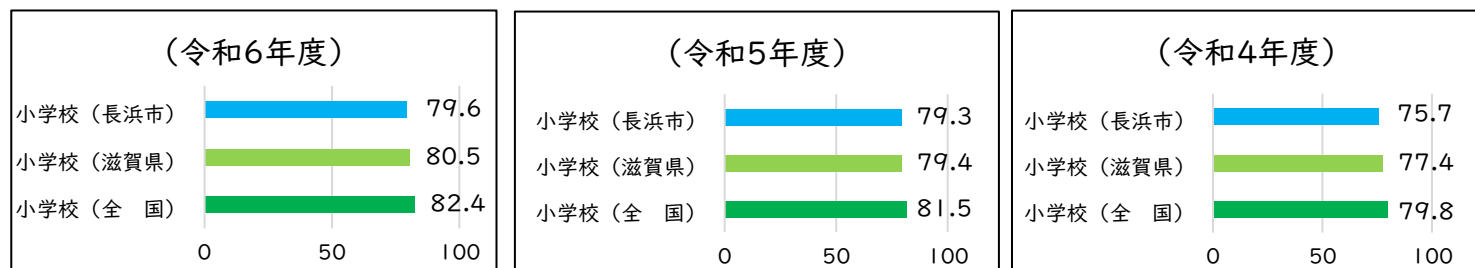


【中学校】

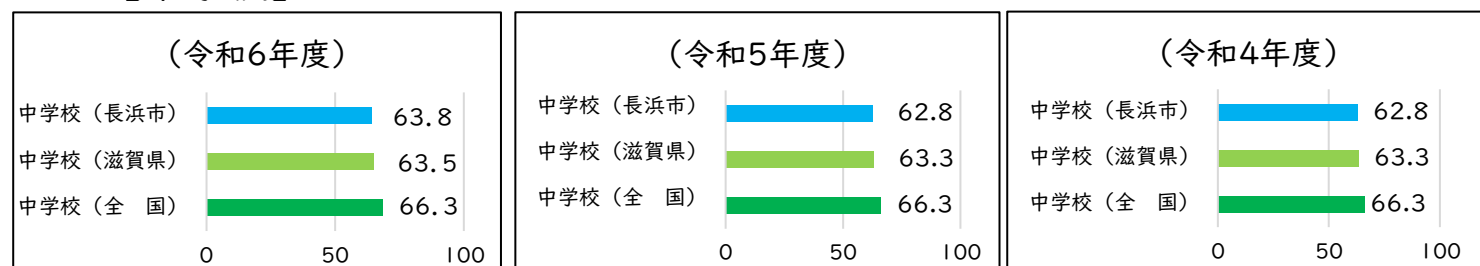


② 将来の夢や目標を持っていますか

【小学校】

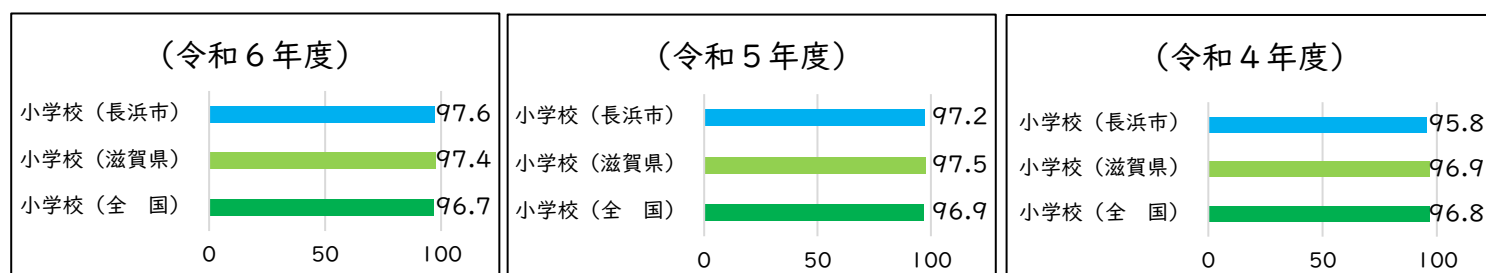


【中学校】

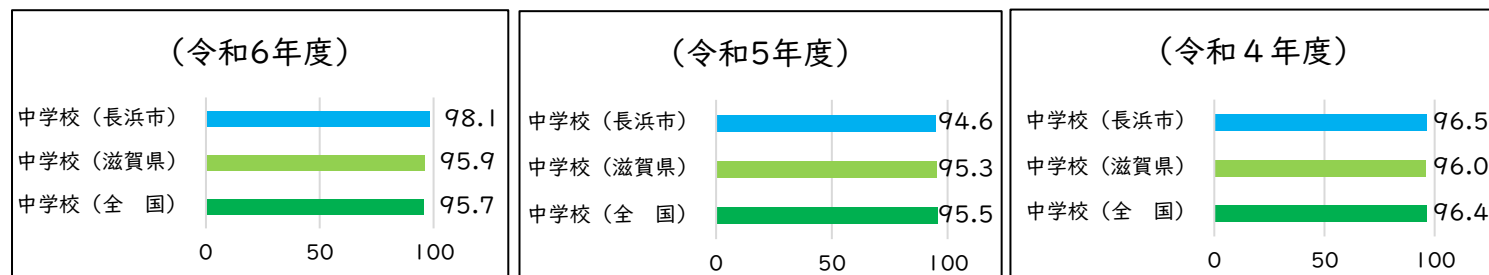


③ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【小学校】

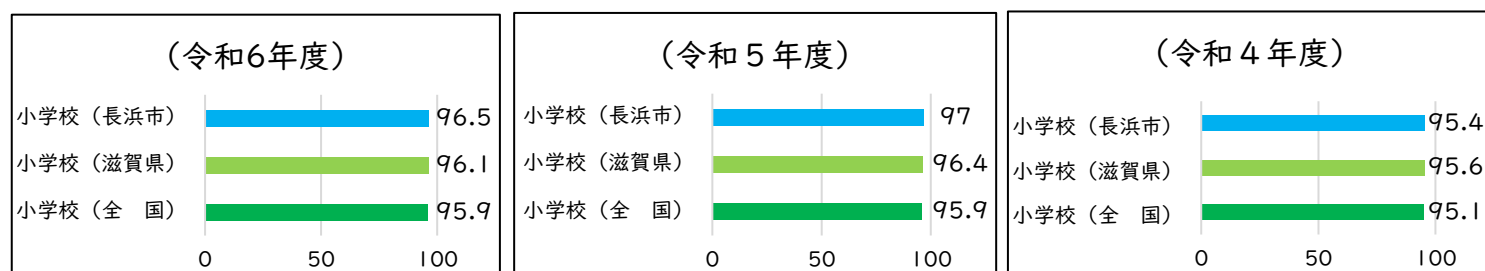


【中学校】

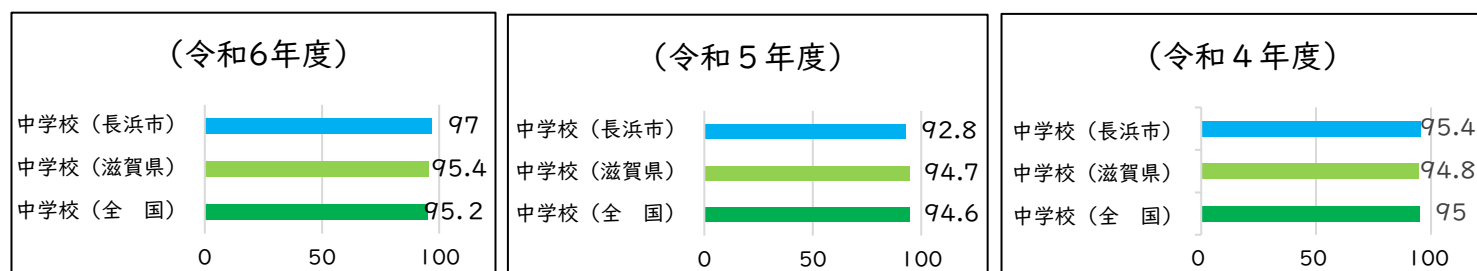


④ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

【小学校】

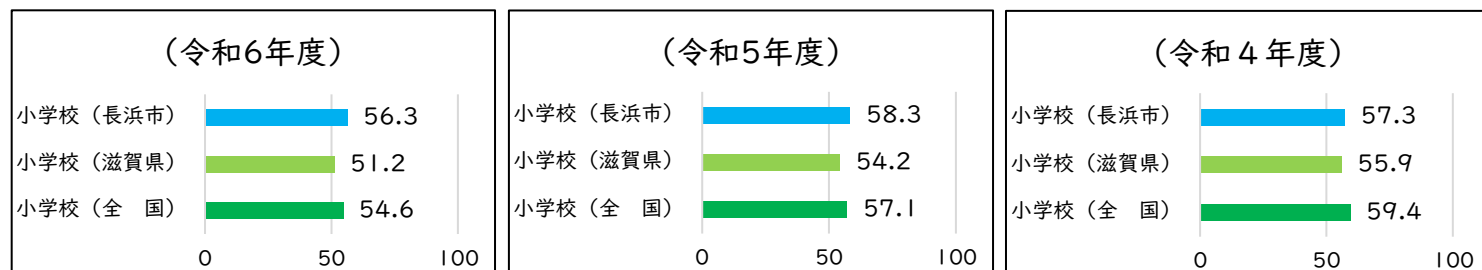


【中学校】

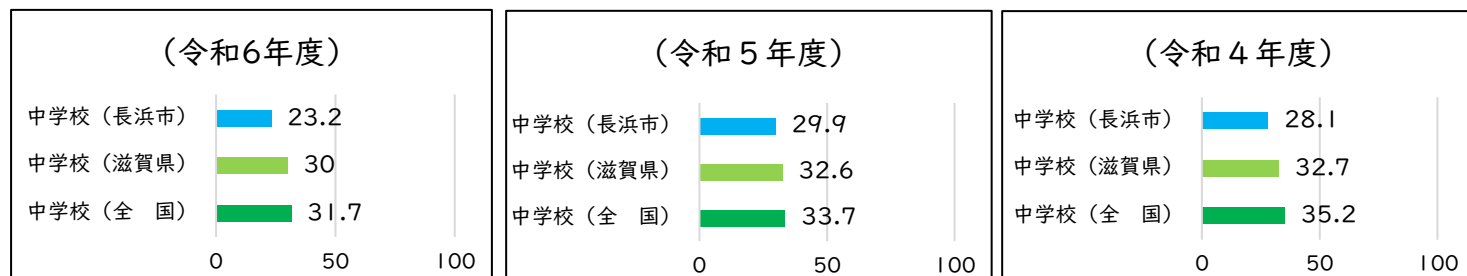


- ⑤ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

【小学校】 ※1時間以上の割合

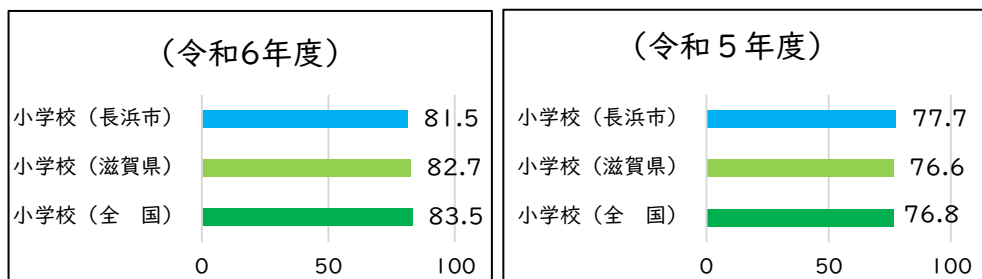


【中学校】 ※2時間以上の割合

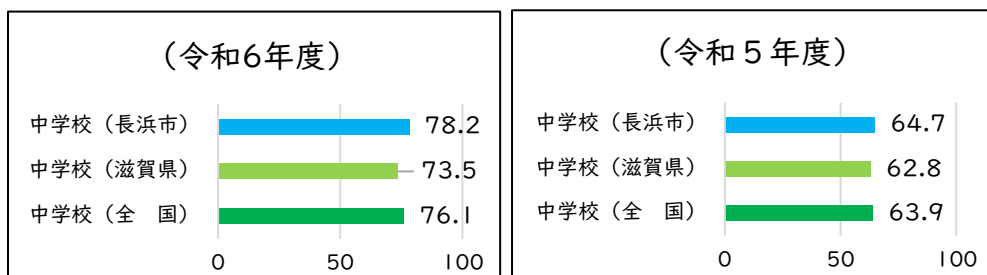


- ⑥ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

【小学校】

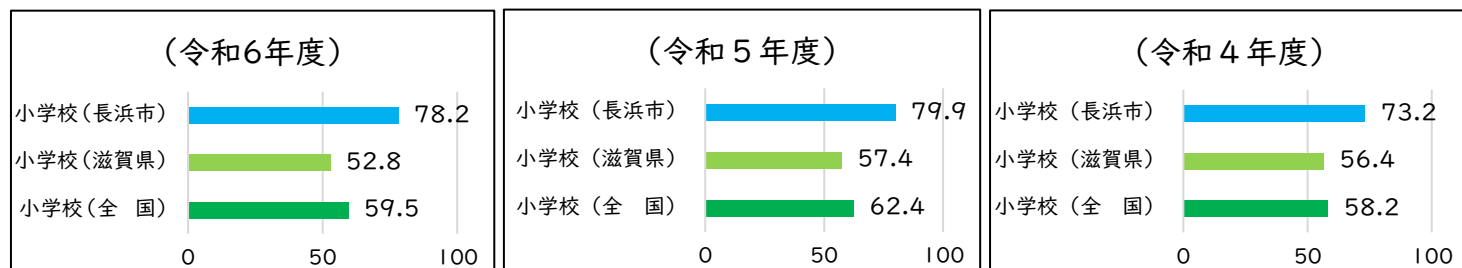


【中学校】

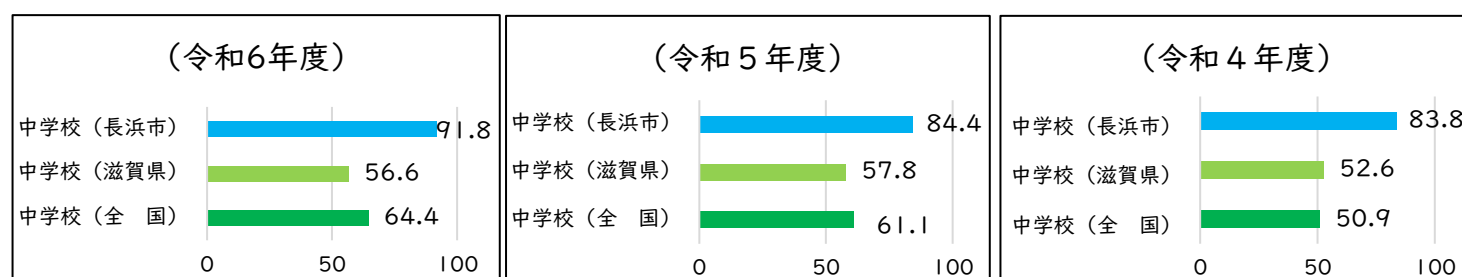


⑦ 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、
どの程度使用しましたか ※週3回以上の割合

【小学校】

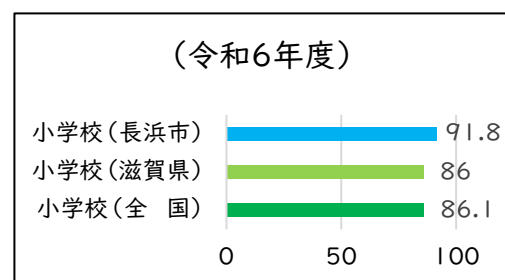


【中学校】 ※1、2年生のときに受けた授業

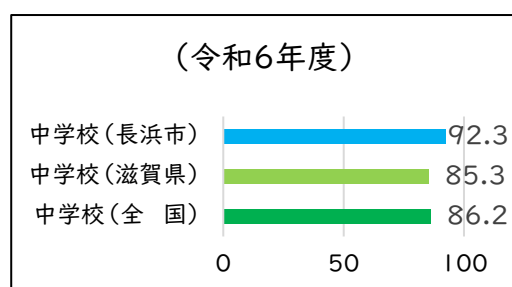


⑧ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することによって友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると思いますか

【小学校】

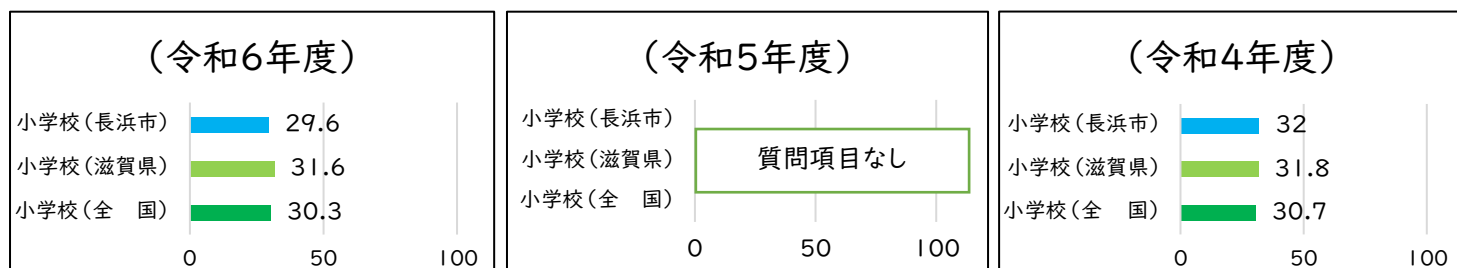


【中学校】

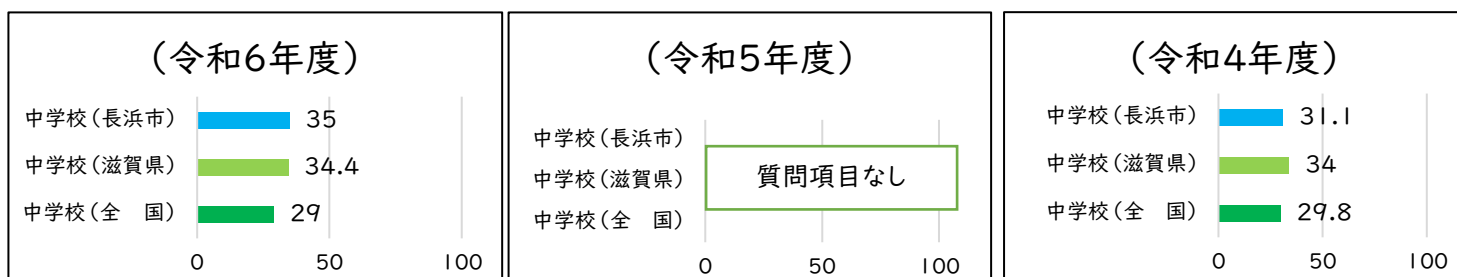


- ⑨ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか ※3時間以上の割合

【小学校】

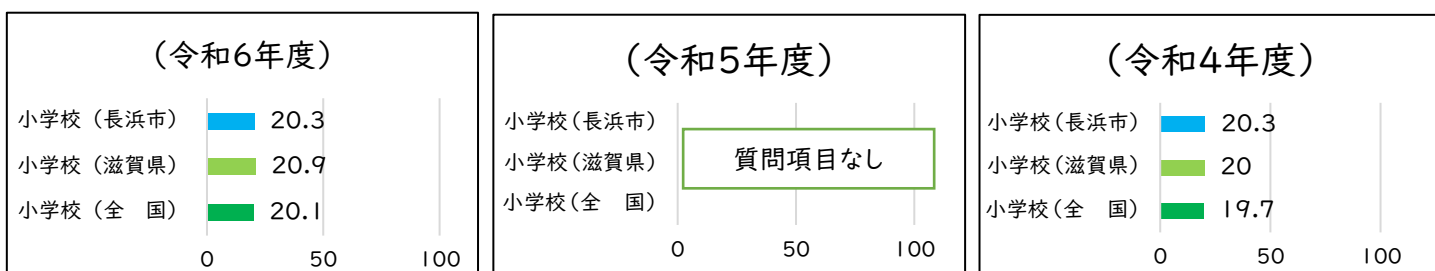


【中学校】

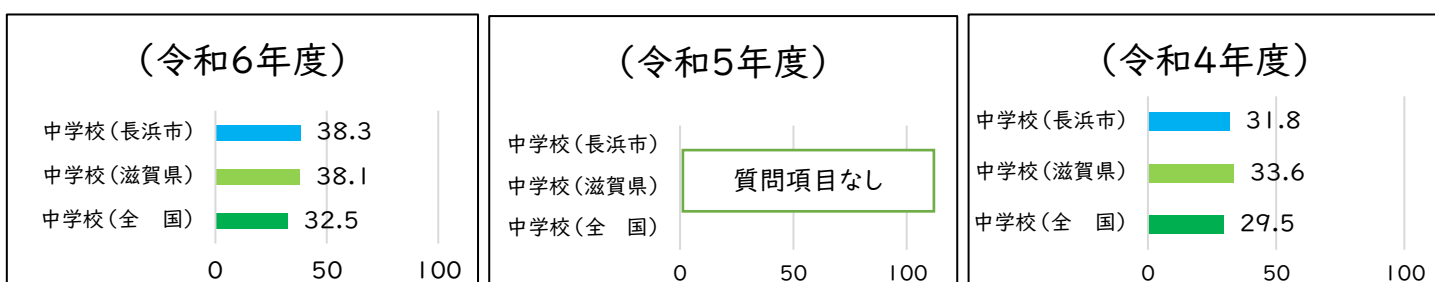


- ⑩ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間は除く） ※3時間以上の割合

【小学校】

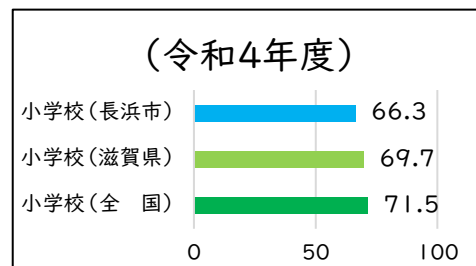
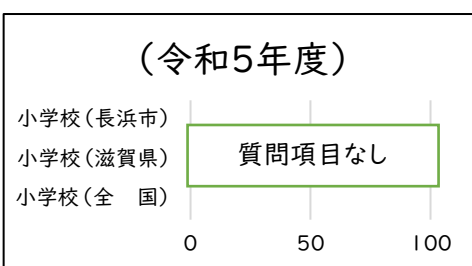
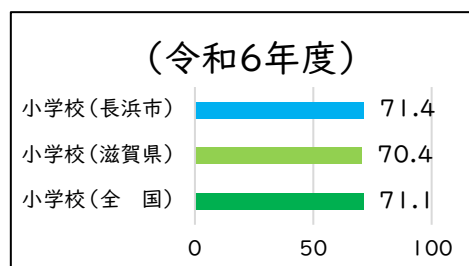


【中学校】

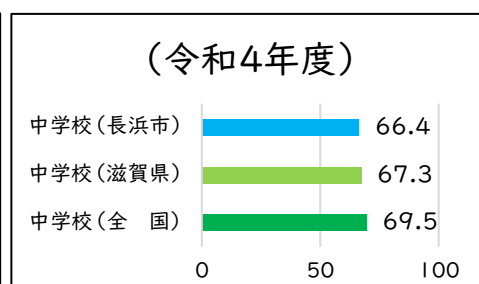
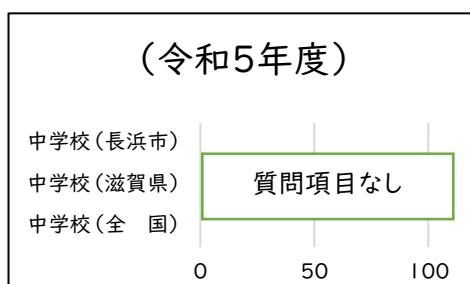
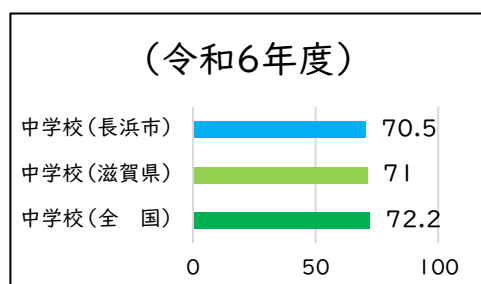


⑪ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、
家の人と約束したことを、守っていますか。

【小学校】



【中学校】



児童・生徒質問紙の①「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、令和4年度から小・中学校ともに高くなっています。自己有用感が育まれてきたことがわかります。

②「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対しても、令和4年度から小・中学校ともに徐々に高くなっています。

③「いじめ」についての質問、④「人の役に立つ人間になりたいと思うか」の質問に対して、小学校は③では今年度も全国平均を越えており、④では令和4年度から全国平均を上回っています。また、両質問ともに中学校では昨年度は全国平均に至っていませんでしたが、今年度は肯定的な回答が全国平均を上回りました。

⑦「PC・タブレットの使用程度」は、小・中学校ともに全国平均を大きく上回っています。

⑧「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することによって友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」という質問では、小・中学校ともに積極的な活用ができていることがわかります。

しかし、⑨⑩のゲームやSNS、動画視聴に関する質問結果を見ると、特に中学校でゲームやSNS等に費やす時間が長くなっていることがわかります。また、⑤「授業以外の勉強時間」について、今年度の中学校の結果が全国平均との差が大きい点が気になるところです。